

平成30年度
予算編成について

代表質問



政友会第一
高崎 和夫 議員

高校再編について

質問…新規事業及び重点項目について伺います。

答弁…一つとして、DESTINEーションキャンペーン（以下DC）事業費1250万円及びDC中に実施されます屋台まつりでの特別企画補助として、大田原屋台出動事業補助金420万円を計上している。

質問…DCの新規事業が市民には、まだまだ理解されていない。

特別企画イベント等の内容について伺います。また、4月から6月の期間のDCを成功させるためのPR、また公共交通の計画についても伺います。

答弁…3つの事業を行う。一つはPR事業。もう一つは特別企画事業イベント。三つめは二次交通の拡充です。基本的には対外向けのPR事業です。市内ではのぼり旗、チラシ等を作成し

て市民向けのPRをしていく。

特別企画は屋台まつりでの特別機敷席からのすばらしい光景の観賞、メイン期間に実施されるあじさい祭り、女性限定の鮎つり大会です。また二次交通としては観光タクシーの補助、那須塩原駅から雲巖寺までのバスの増便を計画している。

質問…学校運営協議会制度と本市の協力について伺います。

答弁…県の第2期高校再編計画は第1学年は4学級から8学級を適正規模とし、特例としては1学年、3学級又は2学級で生徒を募集している。平成30年度は2校が特例校となる。黒羽高校は平成31年度以降の状況に応じて特例校とする。特例校では学校運営協議会制度が導入され

地域住民や保護者等の意見を反映させ地域と一体となり生徒の確保に努める。本市もその運営に対しては必要な協力をしていきたいと考えている。

質問…特例校に関する本市の支援について伺います。

答弁…市内の高校生に市営バス、東野バスが多く利用されている。バスは始業時刻にあわせて運行する等利便性は向上しているも

のと考えている。定期は月額5600円。現在の支援を今後も継続していきたいと考えている。

質問…特色ある学科、コースについて伺います。

答弁…市を担う人材の育成は必要であると考えている。特色ある科の推進を県が進める中で保護者等からの要望があれば、市としてもそれを反映していけるよう努めたいと考えています。